

1 単元名 わたしのまちをたんけんしよう

2 目 標

- (1) 地域の人や場所，自然などに関心をもち，進んで探検をして，かかわりを広げよう
としている。 (関心・意欲・態度)
- (2) 地域を探検してかかわった人や場所，自然，できごとなどを，自分なりの方法で表現することができる。 (思考・表現)
- (3) 自分たちの生活は，地域の人々や様々な場所とかかわりをもっていることに気付くことができる。 (気付き)

3 単元について

本単元では，児童が自分たちの住んでいる身近な地域の人や場所，自然などに関心をもち，探検を通していろいろな人や施設と適切にかかわり，それらが自分たちの生活と関わっていることに気付き，さらにかかわりを広げたり深めたりすることをねらいとしている。

本学級の児童は，生活科学習に関する意識・実態調査（平成18年4月14日実施，第2学年〇組21人）によると，「生活の学習は好きですか」の問いに全員が「好き」と答えている。「生活の学習で一番楽しかった活動は何ですか」の問いには，「むかしのあそびにチャレンジしよう」が6人，「カーニバルをひらこう」が5人，「こうえんへいこう」が4人と，身近な人々や地域とかかわりのある学習であるこれらの単元を好む児童が多かった。一方，「学校の近くには，どんなお店や工場，建物，場所などがあるか知っていますか」の問いに，「知らない」と答えた児童が5人だった。また，知っていると答えた児童にその場所を記述させたところ，「保育園」が9人，「スーパーマーケット」「コンビニエンスストア」はともに6人，「公園」が5人であり，他の場所について記述した児童は少数であった。児童は，よく買い物をする店，以前通っていた保育園と隣接する公園など，直接かかわった場所以外はあまり意識していないことが分かった。

児童の意識・実態調査（平成18年4月14日実施，第2学年〇組21人）

①生活の学習で一番楽しかった活動は何ですか？

昔の遊びにチャレンジしよう	6人	カーニバルを開こう	5人
公園へ行こう	4人	学校探検	4人
花を育てよう	2人		

②学校の近くには，どんなお店や工場，建物，場所などがあるか知っていますか？

知っている	16人	知らない	5人
-------	-----	------	----

③「知っている」と答えた人は，その場所を書いてください。＜複数回答＞

保育園	9人	スーパーマーケット	6人
コンビニ	6人	公園	5人
駐在所	3人		
病院・理髪店・学習塾・製菓店			各2人
老人ホーム・神社・歯科医院・精肉店・ピアノ塾			各1人

そこで，本単元では，2回の町探検を実施し，身近な人々や地域と直接かかわる活動を繰り返し行えるようにする。導入として，学校周辺の場所，人，自然を「町のたからもの」としてクイズ形式で紹介することで，児童に「やってみたい」「行ってみたい」

という思や願いをもち、1回目の町探検へ出かける。2回目の探検で行ってみたいところを考えるために、1回目の探検で見つけた「たからもの」を教え合う学習活動を工夫し、児童の思や願いを明確にさせる。教え合う活動としては、それぞれが見つけてきた「たからもの」を、床地図や視聴覚機器、実物を効果的に活用し、五感に働きかけるような思い思いの方法による発表の場面、発表を聞いて気になった他の児童の「たからもの」について質問する場面を設ける。これらの教え合う活動を取り入れることで、児童の思や願いは整理され、明確なものに変化していき、次の探検での目的意識がはっきりすると考える。その結果、児童の探検へ取り組む態度は意欲的になり、充実した満足感の得られる探検になると思われる。これらの児童の思や願いを明確にする学習活動の工夫をすることで、児童の学習への意欲を単元全体を通して持続させ、自分と身近な人々や地域とのかかわりに関心をもとうとする態度を育てたい。

4 単元の評価規準

	生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
内容のまとまりごとの評価規準	地域の人々や様々な場所に親しみをもってかかわり、自分の生活を広げようとしている。	地域の人々や様々な場所と適切にかかわることや、安全に生活することについて考え、それを表現することができる。	自分たちの生活は、地域の人々や様々な場所とかかわりをもっていることが分かっている。
単元の評価規準	町探検で、地域の人や場所、自然などに関心をもち、親しみをもってかかわり、自分の生活を広げようとしている。	地域を探検してかかわった人や場所、自然などについて、見つけたことや気付いたことを自分なりの方法で表現することができる。	自分たちの生活は、地域の人々や様々な場所とかかわりをもっていることが分かっている。
学習活動における具体的評価規準	①「たからもの」に関心をもち進んで見つけようとしている。 ②めあてを新たにしながら、探検へ行こうとしている。 ③友達と協力しながら、地域の人々や様々な場所とかかわることを楽しもうとしている。 ④地域の人にあいさつをしたり話しかけたり、興味をもったことを調べたりして、進んで地域にかかわろうとしている。	①自分の思や願いを生かして、探検の計画を立てることができる。 ②用件を正しく伝えて、探検をすることができる。 ③町探検で見つけた「たからもの」としての場所や人などのことを絵や写真を用いたり、実物を用意したりして、工夫して友達に伝えることができる。	①地域には親しくなった人や気に入った場所などがあることに気付いている。 ②地域には、行ってみたい場所ややってみたいことがあることに気付いている。 ③気に入った場所が増えたり相手のことを考えて接したりできるようになったことに気付いている。

5 単元計画（18時間取扱い）

時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点	手だて	評価 (○は評価の視点)
2	自分たちの地域に、関心をもつことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">「町のたからもの」をさがしてみよう。</div> ○町の「たからもの」イエス・ノークイズをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「町のたからもの」として、地域にある店、工場、人、自然、公共施設の写真や映像、実物をクイズ形式で紹介することで、「町のたからもの」に関心をもたせ、「たからもの」を見付けようとする意欲を高める。 ・床地図で「たからもの」のある場所を確 	クイズ(写真、レコーダー、実物) 床地図の活用	関心・意欲-① ○「たからもの」に関心をもち、クイズを楽しんでいる。 (行動・会話)

		<p>○探検グループとコースを確認する。</p> <p>○係を決め、約束を話し合う。</p>	<p>認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検グループは3班、コースは同じであるが、出発点を変える。 ・安全面には十分留意する。 	探検計画カード	
3	<p>「町のたからもの」に関心を持ち探したり聞いたたりして人々や場所の様子に気付くことができる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>あんじょうたんけんたい、しゅっぱつ!</p> </div> <p>○1回目の探検に出かける。</p> <p>○新しい「たからもの」を見付ける。</p> <p>○見付けた「たからもの」は、写真、絵、リコーダー、ビデオで記録する。</p> <p>○学校に戻ったら、見付けた「たからもの」をカードに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・探検の目的を確認してから出発する。 ・どんなものが「たからもの」なのか、再度おさえておく。 ・各グループには教師が1名つき、児童の安全を確保する。 ・見付けた「たからもの」や気になることは、デジタルカメラで撮影したり、簡単なメモをとったりさせ、後でカードに表現する際の手がかりとさせたい。 ・児童の要望があれば、教師がビデオやリコーダーで「たからもの」を記録する。 ・フィールドマップには、「たからもの」があった場所を記入させる。 	見つけたよカード	<p>関心・意欲-①</p> <p>○店、工場、人、自然などに目を向け、「たからもの」を探そうとしている。</p> <p>(行動・会話)</p> <p>気付き-①</p> <p>○気に入った店や自然などがあることに気付いている。</p> <p>(カード・対話)</p>
3 (本 時 2 / 3 ・ 3 / 3)	<p>探検で見付けた「たからもの」を教え合い、</p> <p>2 次の探検で行ってみたい場所を明確にすることができ</p> <p>3 る。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>見つけた「たからもの」をおしえあおう。</p> </div> <p>○探検グループで話し合い、「たからもの」の発表の仕方を決める</p> <p>○探検グループごとに、見付けた「たからもの」を発表する。</p> <p>○それぞれの「たからもの」を床地図上に置き、仲間分けする。</p> <p>○質問タイム</p> <p>○2回目の探検で行ってみたい所を考える。</p> <p>○一番行ってみたい所に自分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いている人に分かりやすく伝えられるように、発表の仕方を工夫するよう助言する。 ・五感に働きかけられるような写真、実物、ビデオ、絵を活用させる。 ・「たからもの」を見付けた場所に目印を置いてから発表させる。 ・気になる「たからもの」があったら学習カードに印を付け、質問タイムで質問させる。 ・付箋紙で「場所(店・工場、公共施設)」「人」「自然」「物」を色別に分け、とらえやすくする。 ・質問する側と質問される側の2つに分かれ、交代で質問し合う。 ・質問時間は十分確保する。 ・床地図や他の資料、友達の意見を参考にし考えさせる。そのための時間も十分確保する。 ・自分の考えを整理しやすいように学習カードを工夫する。 ・その場所へ行って、何をしたいのかをお 	<p>五感に働きかける資料(ビデオ、写真、レコーダー、プロジェクター、実物)</p> <p>床地図の活用</p> <p>学習形態の工夫</p> <p>広い空間の確保</p> <p>学習カード</p> <p>十分な時間の確保</p>	<p>思考・表現-③</p> <p>○見付けた「たからもの」を、友達に分かりやすく教える方法を考えることができる。</p> <p>(行動・カード・会話)</p> <p>気付き-②</p> <p>○行ってみたい所があることに気付いている。</p> <p>(対話・カード)</p>

		の目印を置き、発表する。	さえたい。		
3	行ってみたい所、持ち物、ルールなどを話し合っ て探検の計画を立て、見通しをもつことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">2回目のたんけんの計画を立てよう。</div> ○グループごとに、探検コース、係を決める。 ○探検に必要なものを考え、準備する。 ○探検のルールやマナーについて話し合い、シミュレーション劇をする。	・児童の思いを大切に、探検したい場所の方向ごとにグループを編成する。保護者にボランティアを依頼するので、1グループの人数にはこだわらない。 ・班長、副班長の他に、カメラ係、時計係を決める。 ・計画を立てることを通して、一人一人に目的意識をはっきりもたせたい。	探検計画カード 床地図の活用	思考・表現① ○自分が行きたい所を友達に伝えて、探検コースを決めている。 (会話・行動) 関心・意欲② ○探検のめあてをもとうとしている。 (行動・カード)
4	友達と協力しながら、地域の人々や場所、自然などかかわりを持ち、探検を楽しむことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">もういちどたんけんに行って、「町のたからもの」について、もっとしらべてみよう。</div> ○グループごとに、計画にそって探検に出かける。 <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューする。 ・写真を撮る。 ・絵や文でかく。 ・見学する。 ・話を聞く。 ○学校に戻ったら、分かったことをカードに記入する。	・探検コース、見てくるもの、約束事をしっかり確認してから出発する。 ・安全面を考慮し、スクールボランティアの人には、グループの前方と後方に一人ずつついてもらう。 ・安全の確保が最優先だが、あいさつの仕方や、お店や公共施設でのルールやマナーなどについても、不適当な行動があれば、その場できちんと指導したい。 ・確かめたことや新たに気付けた「たからもの」、インタビューしたことは、1回目の探検の時のように、必ず記録させる。	見つけたよカード	関心・意欲④ ○自分から挨拶をしたり話しかけるなど、興味をもったことを調べ、進んで地域にかかわろうとしている。 (行動・会話) 思考・表現② ○探検先で、したいことを正しく伝えることができる。 (会話・カード) 気付き① ○探検で出会った人の中には、親しくなった人もいることに気付いている。 (カード・対話)
3	「町のたからもの」のよさを自分なりの方法で表現し、地域に親しみをもつことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「町のたからもの」をおしえあおう。</div> ○見付けた「たからもの」をみんなに紹介するための方法を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居 ・劇 ・新聞 ・クイズ ・ペープサート ○発表の準備をする。	・これまでに用いた表現方法だけでなく、新たな方法を提示し挑戦させることで、児童の意欲と表現する力を高めたい。 ・自分たちの発表内容に合った表現方法を選ぶよう助言する。 ・みんなに分かりやすい発表になるように、絵や写真、実物を活用するよう助言する。 ・発表する日時や場所、相手、発表時間などを知らせ、場のイメージをもてるようにする。 ・準備のできたグループから発表の練習を始め、互いに見合っ、気付いたことを	五感に働きかける資料(写真、ビデオ、レコーダー、プロジェクター、実物) 床地図の活用 学習カード	思考・表現③ ○自分なりの工夫をして「たからもの」を紹介することができる。 (行動・作品) 気付き③ ○探検でお世話になった人にお礼をしなければならぬことに気付いている。 (会話・行動) ○みんなに教えたい「た

	<p>○発表をする。(授業参観)</p> <p>○「もっと」探検してみたい所を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺では? ・八千代町内では? 	<p>教え合うようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検でお世話になった方々を招待する。 ・単調な発表会にならないように、聞き手も質問をしたり感想を言ったりするようにしたい。 ・友達の発表を聞くことで、「もっと行ってみたい」「もっと知りたい」という思いをもたせ、次の学習「もっとまちの人となかよくなるう」へつなげたい。 	<p>「たからもの」がたくさんあることに気付いている。</p> <p>(カード・対話)</p> <p>関心・意欲-③</p> <p>○友達の家の人や、探検でお世話になった人と話すことを楽しんでいる。</p> <p>(行動・対話)</p>
--	--	--	--

6 本時の活動

(1) 目標 探検で見つけた「たからもの」を教え合い、次の探検で行ってみたい場所を明確にすることができる。

(2) 準備・資料 学校周辺の床地図、「たからもの」の場所を示す目印、1回目の探検の様子を撮影したビデオ、「たからもの」の写真、「たからもの」の音を録音したレコーダー、「たからもの」の絵、「たからもの」の実物、パソコン、プロジェクター、デジタルカメラ、教え合おうカード、学習カード

(3) 展開

時間	予想される児童の活動	発想・気付き	指導の手だて	評 評価
5	1 本時の活動を確認する。 見つけた「たからもの」をおしえあおう。		・1回目の探検で見つけた「たからもの」のよさがみんなに伝わるように発表することを確認する。	
25	2 見つけた「たからもの」の仲間ごとに発表する。	<p>私が見つけた「たからもの」は郵便局です。その訳は手紙を家まで届けてくれるからです。</p> <p>ぼくが見つけた「たからもの」は、メロン畑です。メロンはおいしいからです。</p> <p>私の「たからもの」は、園長先生です。優しく大好きだからです。</p>	<p>・五感に働きかけられるような写真、実物、映像、絵、音などを、効果的に活用させたい。</p> <p>・「たからもの」を見つけた場所を分かりやすく示すために、床地図上には目印を置いておき、その場所で発表させる。</p> <p>・友達の発表を聞いて、気になる「たからもの」があったら学習カードに印を付けておき、質問タイムで質問することを指示する。</p>	
20	3 友達が見つけた「たからもの」について、質問する。	<p>その音をもう一度聞かせてもらえる?</p>	<p>・質問する側と質問される側の2つに分かれ、交代で質問し合う。</p> <p>・質問時間は十分確保する。</p>	



店のおじさんと話したの？やさしかった？

そのへんな虫は、公園のどの辺りにいたの？たくさんいた？

- ・「聞いてみようコーナー」を設け、質問することが思いつかない児童でも楽しく取り組めるように、「たからもの」の種類ごとに質問内容を書いたカードを色別で用意しておき、参考にさせたい。
- ・質問することにとまどう児童や、質問に答えられず困る児童の支援のために「先生助けてコーナー」を設け、教師の援助を求めるヘルプカードを活用させる。



あの店の中へ入ってみたいな。何を売ってるのかな。

おまわりさんに会いたいな。いつもいるのかな。

- 15 4 2回目の探検で行ってみたい所を考える。
- ・床地図や他の資料、友達の見意見を参考にして考えさせる。そのための時間は十分確保する。
 - ・自分の考えを整理しやすいように工夫した学習カードを用いて、考えを整理させたい。
 - ・なかなか考えられない児童には、ビデオ映像を見せて、もう一度探検を振り返らせたい。

- 15 5 一番行ってみたい所を決め、発表する。
- ・床地図上に目印を置き、一番行ってみたい所を示させる。
 - ・その場所へ行ってみたい理由も考えさせたい。

⑨ 行ってみたい所があることに気付いている。
<気づき> (対話・学習カード)

- 10 6 本時の活動を振り返り、次時の活動内容を確認する。
- ・学習カードに記入させる。
 - ・探検隊を作り、探検するコースを考えることを知らせる。

